

愛媛県けん玉協会 会長

大下 英明 さん(三島)

けん玉は 後世に残したい スポーツです



大下さんが、けん玉を始めたのは約60年前。

「みんなで競い合って、上手な人がしているところを見て覚えました。得意技は『宇宙遊泳月面着陸』です。」

大人になり、小学校に給食を配達する仕事をしていた時、待ち時間に、またけん玉をするようになりました。子どもたちが興味津々で寄ってきて、遊び始めました。

「今は自分がしたい以上に、子どもたちに、もっとけん玉になじんでもらいたいです。」

平成7年、愛媛県けん玉協会に加入し、学校や児童館、公民館やイベントで、けん玉を教えるようになりました。難しい技をして見せるだけではなく、教えることを大事にするようになりました。

けん玉は、きちんと習えば、玉を串刺しにする技「とめけん」まで、大人なら約20分でできるようになります。

「次々に壁があつて、その度につまづいてしまいます。遊びながら構えや礼儀作法を学ぶスポーツです。」

大下さんが、熱心にけん玉の普及に努めているのには、理由があります。

「ある病院で、車いすに乗った80歳くらいの男性に出会いました。私がついていたけん玉を身振りで貸してほしいと言うので渡すと、嬉しそうにし始めました。男性の妻が、『この人は私のことも誰だかわかっていません。でもまだ

まだ全てを忘れたわけではな
いんですね。希望を持って看
病します』と言いました。そ
れを聞いて、けん玉を後世に
ずつと残していかななくては
いけないと、強く感じたのです。」

けん玉は、昔懐かしい遊び
である一方、今新しいスポー
ツとして注目されています。
「今は技もたくさんあつて、
全国大会もあるスポーツで
す。小さい子どもから大人ま
でできて、高いお金もかかり
ません。少しでもけん玉の魅
力に触れてほしいです。」



◎愛媛県けん玉協会主催の
「伊予市けん玉教室」

毎週土曜日、10～11時、中
村地区公民館で開催中。

■問い合わせ 愛媛県けん
玉協会会長 大下(☎982-
3365)